

淀川ヒューテック 株式会社

液晶パネルの製造装置で
世界トップシェアを誇る
フッ素樹脂のオールマイティー企業

海外発注可 納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 メイドインジャパン 試作可小ロット 量産対応



ファインテック・ジャパン2008にて優秀賞に選ばれたロータリー式偏光板貼付機

時代のニーズを読み即行動
高機能フッ素樹脂製品で
食品関連から宇宙まで網羅

東京オリンピック開催の年に創業した淀川ヒューテックはフッ素樹脂の成型、加工からスタートし、様々な材料、装置の製造を行っている。耐熱性、耐薬品性、非粘性等の性質を併せ持つフッ素樹脂は、アメリカが月面に着陸し月の石を地球に持ち帰る際、ゴミがでにくいという特性から保管袋の素材として使われた樹脂である。

同社は「ユーザーニーズの先取りと迅速な行動力」をモットーに、時代と共に次々と推移する情勢に対応し、クライアントが求めるものを製品化。化学プラント全盛期にはパッキンを製造し、食品等の身近な機器から宇宙開発関連まで実に多彩に取り扱う。

売上げの7割強を占めるのは半導体、液晶市場で、偏光板貼付機がその代表例だ。偏光板貼付機とは、映像を表示する樹脂製のフィルムを液晶パネルの表面に自動的に貼り付ける装置。パネル表面に約0.3ミリメートルという薄さのフィルムを正確に装着する高度な技術が求められる。同社では縦、横、斜め方向に誤差は0.3ミリメートル以内という高精度、1枚につき16秒という作業スピードを実現。2インチ級の携帯電話向けから60インチの大画面テレビ用まで広範囲のサイズに対応し、中でも32インチ以上の装置では世界で約7割のシェアを獲得する。同社は国内10ヶ所に営業拠点を置き、さらに国内だけでなく台湾、韓国、上海にも関連会社を持つ等、地域に密着した情報収集、製品提案活動、直接取引を行っている。工場も大阪を含め全国



リチウムイオン電池用ガスケット。電池内部の電解液漏出や通電を防ぎ、寿命を長くする

5カ所にあり、最新の滋賀工場にはクリールームも完備。最先端の設備機器、先進テクノロジーを複合させた生産ラインを持つている。

次世代電池の部品を研究
変化対応力で世界に挑む

今、同社が注目しているのは環境・エネルギー市場だ。現在、電気自動車やハイブリッドカーに用いられる大型リチウムイオン電池のガスケットを開発中である。ガスケットとは、電池内部の電解液が漏れ出したり電気が通電したりするのを防ぐ、フッ素樹脂製の封止材。同社は既に携帯電話用リチウムイオン電池のガスケットを製造しており、その技術が活かされる。

日本だけでなく韓国のメーカーを始め海外企業との競争が激化する今、同社の持つ変化対応力は強い武器となる。中小企業ならではの瞬発的な行動力により対応することで新たな市場を開拓する。同社は常に新しいことにチャレンジする「サムシング・ニュー」の精神と、今まで培ってきた技術でグローバル競争に打ち勝っていくのだ。

Company Profile

淀川ヒューテック株式会社

ISO 14001 ISO 9001 大阪22

住所 〒564-0063 吹田市江坂町2-4-8
TEL 06-6386-2211
FAX 06-6330-6528
創業 昭和39年7月7日
資本金 3億8,000万円(グループ計)
従業員 520名
代表取締役社長 小川 克己

■主な事業内容
フッ素樹脂成型品及び各種材料・装置の開発・製造・販売 等

■主な取引先
半導体製造装置メーカー、液晶パネルメーカー 等

<http://www.yodogawa.co.jp>

他社には負けない 当社のもづくりセールスポイント

クライアントの悩みに応えて満足を形にすることで自ら成長

代表取締役社長 小川 克己 さん

我々の存在意義はお客様の課題を解決し満足していただくことです。今の弊社があるのは時代に応じて中小企業だからできるスピーディーな対応で変化を遂げてきたからだと自負しております。顧客の問題解決を通して成長できるような企業をめざします。